

アルカリイオン水

pH12.5

アルカリイオン水のご提案

～汚れ落とし、除菌どうされてますか？～

この街のエネルギーになりたい

チョープロ

アルカリイオン水

「pH12.5」の特徴



水を生成器で電気分解し、アルカリ性にした水のことをアルカリイオン水と呼びます。

- ①pH値は、12.5を示し強アルカリに属する。しかし薬剤を含む危険性のアルカリではなく、電子イオン OH^- を多く含んだ水。
- ②洗淨や除菌に適している。電気分解で塩は使用していないのでサビません。
- ③人と環境にやさしい「ナチュラルクリーニング」として近年注目を浴びている。
- ④商品開封後でも密封しておけば、pH値は下がりにません。

「pH12.5」1つあれば、すべて解決できます。

安全性

強いアルカリ洗剤は、手肌に影響が・・・

洗浄力

アレ？水なのに汚れが落ちる？

除菌
消臭

しかも、除菌消臭もできる？

解決



安全性

安全な理由

※1

①成分の99.8%が水。残り0.2%が炭酸カリウム。

※1 炭酸カリウムとは・・・ラーメンの麺に使用される物質

②洗剤と違い化学物質を一切使用していないため、赤ちゃんの哺乳瓶やペットにも優しく安全に使用可能。

③環境にも優しい。



安全性

あるある

こんなことはないですか？

例) 飲食店 において



お客様が食事中に、隣の席を除菌スプレーで「シュッシュッ」拭いていたら、食事に飛んでくるからやめてほしい。とクレームになったばい。

今使用している洗剤が強すぎて、手が荒れてしまい、それが嫌で退職されてしまった。

今使用している洗剤が強いので、ゴーグルをするが正直鬱陶しか。

安心して下さい。安全です！！



洗浄力

アルカリイオン水

- ① pH 12.5 は、高い pH 値である為、酸性汚れに強い。
- ② pH 値が高いと洗浄力が上がる。
- ③ 汚れのほとんどが「酸性」の汚れ。

※アルカリ性の汚れ（尿石等）は酸性洗剤を使用して下さい。

※コゲ汚れは、研磨して下さい。漂白しないと取れない汚れは今まで同様漂白剤を使用して下さい。



油汚れを乳化して石鹼化します。

この水のエネルギーになりたい

チョープロ

洗浄力

あるある こんなことないですか？

例) 飲食店
において



こびりついた油汚れの鉄板を、あの手この手で苦労して、落とさないといけない。次の予定もあるのに正直ダルい。

閉店後の床清掃が嫌だ。洗剤の泡切れが悪くて、なかなか時間かかるとよね…あわあわ

安心して下さい。洗浄力あります！！



この朝のエネルギーになりたい

チョープロ

〈参考〉 油汚れ落とし実験



水なのに、なぜ？汚れが落ちたのか？



シャツに付いた油汚れ



「pH12.5」で洗浄後



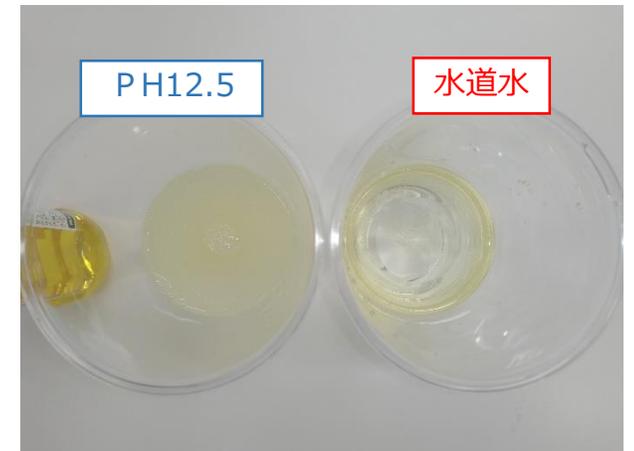
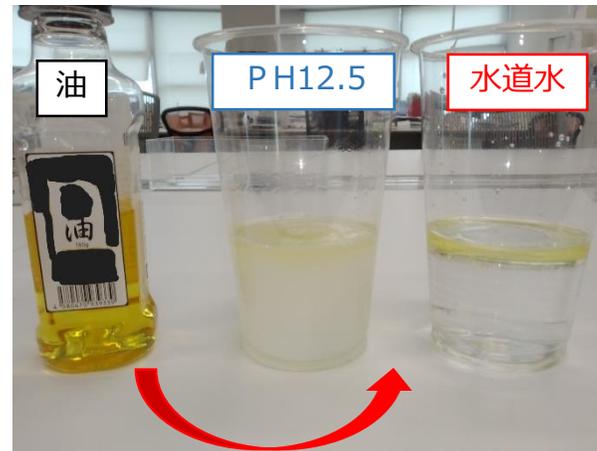
マジで？



キッチン周りの油汚れ



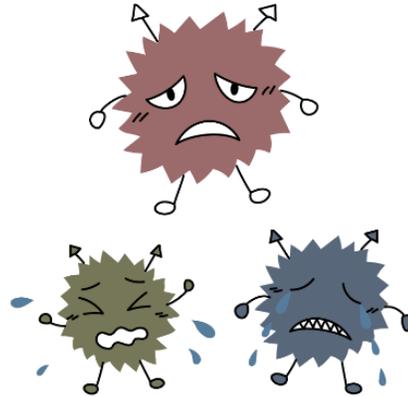
「pH12.5」で洗浄後



高いpH値により洗浄力が増し、油を乳化し汚れを落とす原理です。白く濁ります。例えばメイク落とし用のクレンジングがイメージできます。当たり前ですが、水道水はご覧の通り油と水は分離します。

徐菌
消臭

①ウイルスや菌が生息できる環境はpH11.5まで。



だからこそ！気を使う
まな板 包丁 食器 調理器具 排
水口 シンク トイレにもってこい

	pH12.5は効果的
ウイルス	ノロウイルス ロタウイルス インフルエンザウイルス など
	大腸菌 サルモネラ菌 など



※各種エビデンスあります。

徐菌 消臭

あるある こんなことはないですか？

例) 飲食店
において



雑菌用に良いと、除菌スプレー使いよるとけど、ホントに除菌しよっとなあ???

生野菜は、専用の洗剤で洗ってるけど、お客様の口に入るので少し心配かも。。

トイレ臭くないかい？アンモニア臭がするどがんかならんとか

安心して下さい。雑菌力あります！
アンモニア臭はダメです！



導入メリット4つ



①溶剤を1つにまとめる事が可能。

今までは・・・汚れ落とし洗剤、消毒液等それぞれ購入していた。

※研磨するほどのコゲや、漂白しないとイケない汚れは、これまでのものを使用して下さい。

②作業の効率化が見込める。

洗剤ならではの、濯ぎ作業が軽減される。本体は「水」です。
二度拭きの観点からでいうと手間が1つ抜ける。

③比較的安価購入できる。経費削減。(別添資料 参照)

④希釈して使用できる。

使用場所によっては、希釈して使用することも可能。

10倍に希釈すると、pH値は1下がり11.5になる。

(20ℓ × 10倍 = 200ℓものアルカリイオン水ができる)

お風呂1杯分

デメリット3つ



- ①使用できない素材がある。 (別添資料 参照)
- ②洗淨した感じがでない。
泡が出ないので、洗淨している感覚がわからない。
- ③コゲや、漂白しないといけないものは落とせない。

別添資料 使用できないもの

※アルカリ洗剤と同様です。

以下の素材は、**変色や物質を溶かす可能性**があるので、注意が必要です。



- ・アルミ
- ・漆器
- ・皮革類
- ・貴金属
- ・絹製品
- ・宝石類
- ・銅真鍮
- ・ニス塗装家具
- ・表面加工した家具
- ・金箔
- ・自動車塗装面

〈参考〉 Q&A

類似的商品に「次亜塩素酸水」がありますが、どういう違いがあるのですか？

次亜塩素酸水は、除菌消臭に優れていますが、洗浄効果はありません。使用例としては、「pH12.5」で洗浄後、次亜塩素酸水で除菌することでも使用できますが、「pH12.5」でも除菌効果がある為、次亜塩素酸水なしでもOKです。ただし「黄色ブドウ球菌」は次亜塩素酸水で除菌できるが、「pH12.5」では除菌できません。 ※次亜塩素酸水のpH値2.2～6.5

類似品にアルカリイオン水があるが、「pH12.5」との違いはあるの？

pH値の違いはある可能性がありますが、強アルカリ電解水の性能は変わりません。生成方法の違いはある。電気分解を「塩」を用いているのか、「炭酸カリウム」をしているのか。「塩」を用いている場合はサビの原因となるため注意が必要。「pH 12.5」は塩ではなく炭酸カリウムを使用しているので安心です。

〈参考〉 Q&A

薄めて使用することはできるのか？

使用できます。10倍に薄めるとpH値が1下がります。つまり、pH値11.5になります。弱アルカリ性の数値が8超～11までです。

20ℓ購入した際、10倍に薄めると200ℓ（約お風呂1杯分）ものアルカリイオン水ができます。

※ちなみに重曹水はpH8～9（弱アルカリ性）です。10倍に薄めて使用しても重曹より洗浄効果は高いです。